

組織の“医療安全力” を高める人材育成

2001（平成13）年の厚生労働省による「医療安全対策検討会議」発足などをきっかけに、わが国の医療安全推進の取り組みは、この10年あまりで成果を上げてきている。しかし、人材確保・不足の問題、「医療安全管理者」と「部署・部門のリスクマネジャー」との関係、職員の経験値と専門性への考慮など、取り組むべき課題は多い。

本特集では、海外でも自身の理論が認められている医療安全推進のトップランナーである石川雅彦氏に、これからの10年を見据えた、組織の“医療安全力”を高めるための人材育成について解説いただいた。

トップマネジメントの一翼を担う 看護管理者への期待	614
医療安全管理者養成研修のプログラム 組織の“医療安全力”を高めるための活用	620
部署・部門のリスクマネジャーを育成する！ 臨床現場のフロントラインでの活躍への期待	626
患者相談対応担当職員の育成 「患者サポート体制充実加算」新設でより重要性がアップ！	632
職種経験年数と状況に対応した人材育成 非医療職職員も含めた全職員対象の教育体制づくり	638
職種と業務の特徴に対応した人材育成 自らのリスクセンスを磨き、チームの一員としての自覚をもつ	644